

災害時の記録手段 「クロノロジー」ってなに？

時刻	元	受	内容	時刻	元	受	内容
9:05				9:30	総務	本部	救急隊到着
9:08				9:30	救急	本部	救急隊到着 (赤十字 救1台)
9:08	消防	本部	消防隊到着	9:35	消防	本部	消防隊到着 (救急 救1台)
9:09	消防	本部	消防隊到着	9:40	救急	本部	救急隊到着 (救急 救2台)
9:12	消防	本部	消防隊到着	9:45	DMAT	本部	DMAT到着 (救急 救1台)
9:14	消防	本部	消防隊到着	9:57	本部		DMAT到着 (救急 救1台)
9:15	消防	本部	消防隊到着	9:57	本部		DMAT到着 (救急 救1台)
9:18	消防	本部	消防隊到着	9:57	本部		DMAT到着 (救急 救1台)
9:23	消防	本部	消防隊到着	9:57	本部		DMAT到着 (救急 救1台)
9:25	消防	本部	消防隊到着	9:57	本部		DMAT到着 (救急 救1台)
9:28	消防	本部	消防隊到着	9:57	本部		DMAT到着 (救急 救1台)

2021.1.9防災訓練時の
クロノロジー

日常的に会議の議事録や日記、映像や音声など様々な場面での記録は行われていますが、記録は得た情報、発信する情報は管理し、有効に活用する為に行います。災害時の管理は、医療機関や医療資源、危険情報など莫大な情報が必要で、混乱を防ぐために情報管理が重要になります。その情報を「クロノロジー」で管理する手段があり、災害現場では略して「クロノ」と呼ばれ、「誰が発信し」「誰が受け」と「誰が受信し」「誰が受け」という内容を時系列に記録していくものです。



実際にクロノロジーがどのように活用されるのか、簡単に説明します。(図参照) 災害時の本部におき、共有した情報としておくべき情報として、解決すべき問題、指示・被災状況等があり、被災状況等を抽出し、必要な情報を読み取り、状況を把握し、チームの可視化していくことがクロノロジーの役割になります。

2021年9月発行

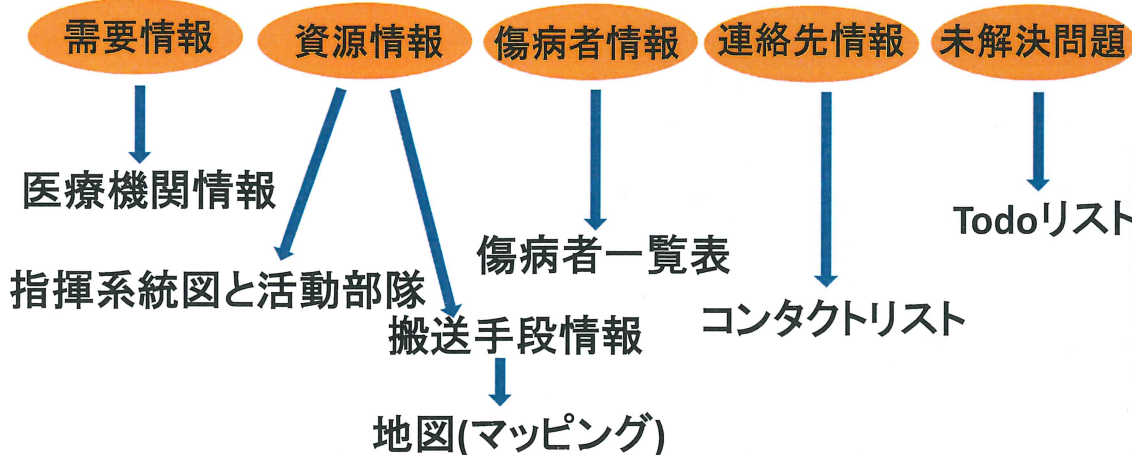
発行人
埼玉DMAT・AMAT隊員
リハビリ科 田中雄大



編集者より
ひとこと

災害は予測できません。災害キットや非常食を準備するなど、まずは自分の命を守る備えをしましょう

クロノロジー



災害時における活動内容の全貌の可視化ができる

